



大阪府私立病院協会 創立50周年
記念誌

一般社団法人 大阪府私立病院協会
Osaka Private Hospital Association

<目次>

巻頭言

大阪府私立病院協会 会長 加納 繁照	3
--------------------------	---

特別寄稿〈50周年に寄せて〉

名誉会長 大道 學	5
名誉会長 佐藤真杉	6

合同記念式典

「第1部 創立記念式典」	
主催者代表挨拶	8
来賓祝辞	10
「第2部 記念講演会」	
『古代エジプトの不病、不老、ピラミッド』	17
「第3部 記念祝賀会」	
開会挨拶・お祝いスピーチ・乾杯・アトラクション・中締め	18
～フォトギャラリー～	20

数字で振り返る大阪府私立病院協会

歴代会長・副会長一覧	29
役員名簿	31
会員数推移	33
会員病院一覧	34
編集後記	39

< 巻頭言 >



大阪府私立病院協会 会長

加納 繁照 <令和7年4月現在>

創立 50 周年を迎えて

皆様方におかれましては、平素より大阪府私立病院協会の活動に対し、ご理解とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

大阪府私立病院協会は、昭和 49 年（1974 年）8 月に創設、平成 24 年（2012 年）2 月に一般社団法人を登記し 13 年が経過いたしました。創設当時は 75 会員病院で始まりましたが、会員病院皆様のおかげをもちまして令和 7 年 3 月現在 299 会員病院になっております。

協会の目的は、府内の私立病院を取りまとめ、行政や諸団体との連携を図り、安定した病院経営のもと安全で質の高い医療を提供し、社会貢献することです。昭和、平成、令和と三つの時代にわたる活動は、事務長会、看護部会、医事研究会運営委員会、青年部会と、大阪府私立病院協会独自の部会活動や、大阪府私立病院協同組合等の創設を含め、会員病院の診療・研究・教育及び経営に役立っており、また素晴らしい成果をもたらしています。

この 50 年間で我が国の医療は急激に医療費が増加する中、様々な問題が発生してきましたが、その折々において、長い歴史の中で各年度を支えてこられた会長、副会長ならびに役員の先生方のご尽力と、会員病院のご協力のもと乗り越えてまいりました。

今後も病院を取り巻く環境は大きな社会変化に伴って激変します。病院はその使命から、この変化に適切に対応して病院を変革し、医療を継続して提供することが必要となります。病院にとって大変厳しい時代が訪れると言っても過言ではありません。しかし、府民の健康と命を守る病院医療を堅持することが最も重要であることには変わりありません。これからの時代は病院単独で対応するのではなく、病院間の役割分担と連携で医療を堅持する必要があります。これからも大阪府の私立病院がますます発展できますよう、必要な場合には国や大阪府等にも働きかけ、会員病院が共に協力し合いながら安心できる未来社会を創るために前進してまいります。

今後も大阪府私立病院協会への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特別寄稿〈50 周年に寄せて〉



大阪府私立病院協会 名誉会長

大道 學

(社会医療法人大道会 会長)

記憶に残るアメリカ医療の視察

大阪府私立病院協会がめでたく創立 50 周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昭和 49 年(1974)に尊敬する内藤景岳会長のときに理事を仰せつかり、永きにわたり役員を務めさせていただきました。その内の平成 5 年(1993)1 月から 8 年の 3 年間は会長として務めさせていただきました。

私は 97 歳になりますので曖昧な記憶となりますが、当時の役員の皆様とよく勉強したことを思い出します。

昭和 61 年(1986)に厚生省の医業経営の近代化に関する懇談会委員、平成元年(1989)に医療審議会委員、平成 8 年(1996)には医業経営と患者サービスの向上に関する委員会の委員などを拝命していたのですが、会議が終わって大阪に戻りますと、役員の先生方が、いち早く中央の情勢を知りたいとお集まりになり、時間を忘れて情報交換を行っていたことが思い浮かびます。今とは違って、分厚い紙の資料を持ち帰り、皆で熱心にその資料を読み解き、喧々諤々の議論を行っていました。そのようなことを通じて、より親密になり連携と協調が図られたことと思います。

もう一つの思い出は、アメリカ医療の視察です。当時の米国医療の重要性を学ぶために親友の大浜方栄参議院議員※1の勧めで、日本大学教授の大道久先生※2と私の 3 人でアメリカ医療の視察を行い、実態を知ることができました。その後、昭和 61 年(1986)7 月に大阪府病院協会・大阪府私立病院協会の後援を得て、私が団長となり、きつこう会の多根要之助先生、多根総合病院の海北幸男事務長、当法人の天野など 25 名の参加を得て、「アメリカ医療の近況視察」を実施しました。視察のポイントとしたのは、① DRG をめぐる病院の対応、② PRO による医療審査の実体、③ 公的保障・メディケアの行方、④ 低医療費、低コスト保障 HMO/PPO の実体、⑤ 中間施設と在宅看護の実体、⑥ 米国医師の活動状況、とし、帰国後には 163 ページからなる視察報告書を取りまとめ、内外に供しました。

アメリカの医療費抑制政策や開業医と病院の連携、入院患者の減少、早期退院と在宅看護の連携などの実態を視察できたことは、病院を運営している者にとって役に立つ事例ばかりでした。単なる視察に終わるのではなく、報告書をまとめ情報を共有できたことは意義のあることであったと改めて感じています。私たちの時代は、アメリカに追いつき追い越せという発想がありました。

今の日本は世界に例がない超高齢・少子社会を迎えており、日本独自の医療政策が必要になります。大阪府私立病院協会は大阪府病院協会と力を合わせて新しい発想で、今後とも国民のための医療政策を提言されるよう期待しています。

※1 大浜方英先生：医療法人 / 社会福祉法人 / 学校法人おもとグループ(元)理事長
沖縄県医師会(元)会長

※2 大道久先生：日本大学名誉教授



大阪府私立病院協会 名誉会長

佐藤 眞杉

(社会医療法人美杉会 佐藤病院 理事長)

「組織強化」と大阪府医師会との交流・親睦 大阪府健康福祉部との交流

私は、1988年(昭和63年)、故牧安孝先生のご推薦で、大阪府私立病院協会(以下、私病協)の理事に就任させていただきました。1996年(平成8年)に私病協会長の大道學先生が私を副会長に選任して下さり、間もなく組織強化委員会の委員長に任命されました。その頃、大阪府から、「組織率が50%未満の団体は公的団体として認められない」と言い渡され、理事会は会員獲得に真剣に取り組みました。委員会は、まず未加入病院をリストアップし、各委員に最寄りの病院などについて分担して頂き、入会を働きかけました。様々な経緯がありましたが、努力は実を結び、目標を達することが出来ました。現在、大阪府の病院数は502、会員病院は299、組織率は59.6%です。

2000年から2006年(平成12～18)まで私病協会長を務めました。副会長に、故辻尚司・故川合弘毅・生野弘道先生が就いて下さり、大変助けて頂きました。

医政に関して、私は、病院団体は医師会と団結して活動するべきであると考えていました。したがって、大阪府医師会が行う医政活動には、私どもは全力を挙げて参加、協力することに努めました。

2001(平成13)年に大阪府医師会が「医療制度改悪に反対する大阪1万人集会」を行いました。当初、中央の医療関係者は、「3千人も集まればよいところだ」と冷笑していました。しかし、当日は2万人が参集し、会場の大阪城ホール(収容人数1万3千人)は人であふれかえりました。病院団体からは3840人が参加しました。このような運動が中央に波及し、小泉内閣の医療制度改革案は阻止されました。

病院協会と大阪府医師会の理事を兼務しておられた三上裕司先生の仲介で、「大阪府医師会会長植松治雄先生を囲む懇親会」が2000(平成12)年5月に、植松会長、大阪府病院協会(以後、大病協)ならびに私病協の会長・副会長との間で行われました。この会が発展する形で、「大阪府医師会・大病協・私病協 懇談・懇親会」となり、その後毎年行われています。

大阪府医師会の副会長(当時)で、病院担当の大北昭先生とは前述の運動等を通じて交流がありました。大北先生は、たまたま私病協の会計報告書を目にして、収入のとても少ないことに驚いた様子でした。その後、大阪府医師会から交付金を頂くようになりました。また、大阪府私立病院協同組合から寄付金および委託料、大阪府病院企業年金基金からは委託料をいただいています。感謝しています。

2006(平成18)年、副会長の生野弘道先生に会長を引き継いで頂きました。彼は温厚な勉強家で、とても雄弁です。私病協が一段と精彩を加えたように感じています。

合 同 記 念 式 典

日時：令和6年5月15日（水）
記念式典 午後4時より
記念講演会 午後5時より
祝賀会 午後6時より
会場：リーガロイヤルホテル

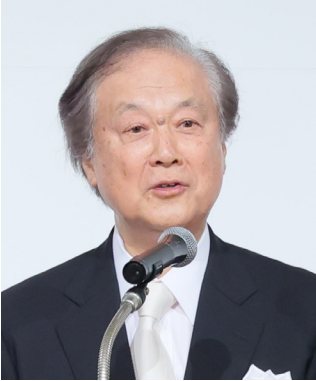
大阪府病院協会創立70周年、大阪府私立病院協会創立50周年を
合同で祝う記念式典を令和6年5月15日夕刻、大阪市北区中之島
のリーガロイヤルホテルで開催し、270名が出席した。

創立記念式典では、主催者を代表して両会の会長・副会長・名誉会
長が登壇した。また、来賓として、近畿厚生局長得津馨様、大阪府
知事代理副知事の渡邊繁樹様、大阪市長代理副市長の山本剛史様、
日本医師会会長松本吉郎様、大阪府医師会会長高井康之様、日本
病院会会長相澤孝夫様、ならびに近畿病院団体連合会所属の各府
県病院協会会長にご登壇いただいた。

※当記事（8頁～19頁）に掲載の方々の肩書につきましては、
令和6年5月15日現在のものとなります。

第1部 創立記念式典

主催者代表挨拶



大阪府病院協会 会長

木野 昌也

本日ここに、大阪府病院協会創立 70 周年、大阪府私立病院協会創立 50 周年記念式典を開催いたしましたところ、公私共にご多忙のなか、近畿厚生局長はじめ、大阪府、大阪市の幹部の皆様、日本医師会の松本会長、日本病院会の相澤会長、近畿病院団体連合会二府四県の病院協会の会長、大阪府医師会をはじめとする大阪の医療関係団体の皆様、さらには多くの会員病院の先生方にご臨席いただき、このように盛大に開催できましたことに心より御礼を申し上げます。

大阪府病院協会は昭和 30 年、1955 年に設立されました。正確に申し上げますと、来年 2025 年に 70 周年を迎えることになります。本日ここに大阪府病院協会と大阪府私立病院協会が、合同で創立記念式典を開催させていただきましたのは、新たな時代に向けて、大阪府の医療・健康・福祉の更なる増進を図るためには、大阪府病院協会と大阪府私立病院協会が共に手を携えて、一致協力して様々な課題に取り組んでいく必要があるからです。

3 年余りに亘り世界中で甚大な被害を及ぼしたコロナ感染が一段落いたしました。医療界におきましては課題が山積しております。国の医療費抑制策が続く中、水道光熱費など諸物価の高騰は病院経営に大きな負荷を与えています。少子超高齢社会にあって人口減少が続く中、医療機関における医療人材不足は大変厳しい状況にあります。日々の病院医療を支えている医師や看護師、その他の医療専門職が、過酷な現実の前に職場を去っていく現状は早急に改善していく必要があります。将来に夢の持てる職場環境を作っていかなければなりません。さらに、今後いつ発生するかもしれない巨大地震に対する備えや、新興感染症の出現に迅速に対応するためにも、余裕のある医療体制が必要です。2040 年に向けて新たな地域医療構想のもと、各地で地域包括ケアシステムを機能させていかなければなりません。これらの課題に対処するには、大阪府下の病院が公私の別なく一致団結して取り組んでいく必要があるのです。

我々病院がこれまでに歩んできた道は、決して平坦なものではありませんでした。しかし厳しい経営環境の中にあっても、大阪府下の病院は見事にこれまでの難局を克服し、地域医療の発展に貢献して参りました。両協会の歴代の会長、副会長、役員をはじめ会員病院の皆様の日々のご活躍に敬意を表したいと思います。そして大阪の病院がその責任を立派に果たすことができるよう、様々な面でご支援、ご指導いただきました関係諸団体の皆様には改めて感謝いたします。本当にありがとうございます。これからも引き続き、より一層のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。本日は限られた時間ではありますが、両協会の創立を記念し皆様と共に祝いたいと思います。本日はご参列いただきまして誠にありがとうございます。



大阪府私立病院協会 会長

生野 弘道

ただ今、ご紹介していただきました私立病院協会の生野でございます。本日は私立病院協会 50 周年、大阪府病院協会 70 周年、記念式典にご来駕賜り、誠にありがとうございます。

私どもは、50 年前、私立病院協会を立ち上げられた“偉大な諸先輩”にいつも感謝し、会の運営に努めてまいりました。当協会は、大阪府病院協会、大阪府医師会から、“我が子”のように育てていただきました。また、大阪や近畿一円の多くの関係諸団体の仲間に入れていただきました。さらに、日本医師会、日本病院会など中央の関係諸団体にも参加できるようになり、多くのことを学びました。

近年、大阪府の暖かいご指導を受け、府民のための医療提供体制の一翼を担わさせていただくようになりました。特に、新型コロナウイルスとの闘いでは、当協会も力一杯闘いましたが、その努力が認められ、50 周年式典に際し、大阪府から感謝状をいただくことになり、大変うれしく思っています。ありがとうございました。

このように、多くの関係団体の皆様や、本日ご列席いただきましたご来賓の方々にご理解とご支援をいただき、当協会は大きく成長することができました。これまでのご支援、心から御礼を申し上げます。

最近、私立病院だけでなく、あらゆる医療機関にも、単なる不況とは異なる、“大きな波”が押し寄せています。その波と闘いながら、私どもも新たな一步を踏み出さねばなりません。この 50 周年を「第二の創立」と考え、初心に帰って事に当たっていきたいと思います。

これから、私立病院協会は、大阪府病院協会と更に連携を深め、大阪府医師会を中心とした“オール大阪”の一員として、大阪府民のため、地域医療活動に全力を注ぎ、さらなる躍進を遂げたいと願っています。皆様には、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願いし、私のご挨拶といたします。ありがとうございました。

来賓祝辞



近畿厚生局長

得津 馨 氏

本日、ここに、大阪府病院協会創立七十周年並びに大阪府私立病院協会創立五十周年 合同記念式典がこのように多数の関係者の参加の下、盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

また、長きに渡り、両協会、そして会員である各病院の皆様が、大阪府民の方々の健康の保持・増進を、医療を通じて実践を積み重ね、支えられてきたこと、心から敬意を表したいと思います。

さて、大阪府病院協会が設立された昭和三十年は、まだ医療保険制度の未適用者が総人口の約三割であったなど、医療を受ける環境としては現在とは違う課題が山積していた時代でありました。また、大阪府私立病院協会が設立された昭和四十九年は、老人医療費の無料化や医療保険の家族給付率を五割から七割に移行するなどが行われた時代で、大きく医療ニーズも増加する時期だったのではないかと考えております。

両協会が設立された時期や時代背景は異なりますが、その時々々の医療の課題を踏まえつつ、会員病院が一致協力して、病院の資質の向上・発展を進め、社会の福祉増進を目的としていることは共通であり、長年、この目的に則って役割を果たされてきたことは行政の立場としても大変意義深いものと受け止めています。

時代も昭和から平成、そして令和へと進み、その間も医療を取り巻く環境が変化し、また、先般の新型コロナウイルス感染症のような健康危機事象など予期せぬこともありました。しかしながら、様々な課題に両協会、そして各病院が一致協力して乗り越えられてきて、今日を迎えられていると私は考えております。

我が国においては、急激な少子高齢化により、人口は既に減少してきていることは、ご承知のことと思いますし、大阪府の人口も平成二十年後半あたりより減少傾向になっていると伺っております。この少子高齢化が進むことによって、様々な問題・課題が生じてきますが、これらにもしっかりと対処していく必要があります。

このことについて、国としては全世代型社会保障構築を目指していくこととしており、昨年十二月には改革の道筋をまとめております。とりわけ、医療・介護制度等の改革については様々な取組を進めることが道筋に記されており、こうしたことを進める上でも、両協会には、格別なご理解を賜り、ご協力をお願いしたいと考えております。

特に、生産性の向上や効率的なサービス提供の観点で、医療 DX の推進が取組の一つとされていますが、これを進めるには基盤となるマイナ保険証の利用促進が欠かせないと考えております。両協会そして会員病院の皆様方には、このことについても格別なご理解を賜り、マイナ保険証の利用の呼びかけなどご協力いただけますと幸甚に存じます。

国内外の社会情勢や経済情勢なども鑑みますと、医療を取り巻く環境も厳しさを増してくるものと容易に想像できますが、両協会及び会員病院の皆様方は、幾多の困難を乗り越えてこられておりますので、これからも確実に乗り越えていけるものと信じております。そして、厳しい環境の中でも、協会としての役割を果たされ、ひいては、大阪府民の方々の健康の保持・増進に末永く寄与するものと期待しております。

結びに、ご参加者の皆様のご健勝とご活躍、そして、大阪府病院協会並びに大阪府私立病院協会の引き続きのご発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



大阪府知事

吉村 洋文 氏

(渡邊繁樹・副知事代読)

一般社団法人大阪府病院協会創立 70 周年、一般社団法人大阪府私立病院協会創立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

これまでの活動を支えてこられた、木野昌也会長、生野弘道会長をはじめ、歴代の会長、役員、会員の皆様の熱意とたゆまぬご努力に深く敬意を表します。

大阪府病院協会は、国公立・公的・民間の病院が一体となり、病院の資質の向上発展及びその使命遂行に関する事業を行い、社会の福祉増進に寄与するなど、医療活動の充実と地域医療の質向上にご尽力されてきました。また、大阪府私立病院協会は、大阪では民間病院が約9割を占める中、各病院の自立した経営支援や医療従事者の勤務環境の改善への取り組み支援による安全で質の高い医療の提供に、ご貢献されてきました。この間の両団体の、大阪府の健康医療・福祉行政の推進への格別のご理解、ご協力に、改めて厚くお礼申し上げます。

近年では、4年以上にわたる新型コロナウイルス感染症への対応において、府民の命を守るため、一丸となって大阪の医療を支えていただきました。大阪府といたしましては、これらの経験を踏まえ、昨年度末に策定した第8次大阪府医療計画、大阪府感染症予防計画に基づき、平時より新興感染症の発生・まん延時や災害時など有事に備えた医療体制の構築を図ることとしております。計画策定にあたり、審議会等においてご意見ご議論をいただき、ありがとうございました。

また、いよいよ、「2025 年大阪・関西万博」の開催まで1年を切りました。万博を契機とした未来社会の実現に向けて、ライフサイエンス分野での研究や次世代ヘルスケアの推進などの取組みを加速化させていくとともに、安心で安全な万博の開催に向けまして、救急医療体制の構築や外国人患者の受入等について、万全を期すべく準備を進めております。これら取組の推進に向けまして、今後とも大阪府病院協会、大阪府私立病院協会の皆様のより一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、両協会がこれまでの歴史と実績を礎にさらなる発展を遂げられますとともに、本日も臨席の皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。



大阪市長

横山 英幸 氏

（山本剛史・副市長代読）

大阪府病院協会創立 70 周年並びに大阪府私立病院協会創立 50 周年の記念式典が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、木野会長、生野会長をはじめ、両協会の皆様方には、平素から市民の健康をお守りいただくとともに、保健衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。とりわけ、新型コロナウイルス感染症対策におきましては、診療から検査、入院患者の受け入れ、インフルエンザとの同時流行に備えた臨時発熱外来の開設など、皆様には多岐にわたり、ひとかたならぬご尽力をいただき、深く敬意を表する次第であります。今日、高齢化がますます加速していく中で、保健・医療の充実と向上に、両協会の果たされる役割は極めて大きなものがあり、引き続き社会福祉の増進にご貢献くださいますよう期待申し上げます。

さて、来年には「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博が開幕します。大阪市としまでも、地元自治体として大阪が世界に貢献する姿を示し、その強みや魅力等を全世界に発信するため、大阪ヘルスケアパビリオンの出展に向けた準備を進めております。また、万博のインパクトを最大限に活かし、大阪の持続的な成長につながる取組を進めてまいります。暮らしを守る医療・福祉の向上、子育てや教育環境の充実など、市民サービスの拡充を追求し、一人ひとりが多様な幸せを実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざしてまいりますので、引き続き皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、大阪府病院協会並びに大阪府私立病院協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、お祝いの言葉といたします。



公益社団法人 日本医師会 会長
松本 吉郎 先生

本日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。創立記念式典の開催にあたり、日本医師会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

大阪府病院協会におかれましては、創立 70 周年、大阪府私立病院協会におかれましては、創立 50 周年をお迎えになったとのこと、改めてお祝い申し上げます。それぞれの団体が、お互いに協力し合い、また、地元の各医師会とも手を取り合って大阪府の病院医療を先導してくださっていることに改めて御礼申し上げます。

過去を振り返ってみますと、70 年前は戦後の荒廃から立ち直り、全国の病院数が昭和 30 年によく 5,000 を上回る状況でございました。大阪府病院協会におかれましては、戦後の大阪府における病院医療の礎（いしずえ）を築き、現在の発展した姿にまでご尽力くださったことと存じます。今後も新たな地域医療構想に向けてご指導頂きたいと考えております。

また、50 年前の 1974 年はいわゆる第一次オイルショックのまっただ中でございました。現在の物価高を大きく凌ぐ「狂乱物価」ともいわれるほどの経済状況にあったため、当時の日本医師会長の武見太郎先生が奔走し、診療報酬を年 2 回の改定で 35 ポイントの引き上げとするなどの辣腕を発揮された時代であり、医療界も非常に混沌とした状況に見舞われておりました。そのような中で大阪府私立病院協会が創立され、私立病院ならではの課題について、大阪府内の各種団体と一緒に半世紀の長きにわたり取り組んでくださっていただきました。大阪府では私立病院が大きな役割を果たしていることは、大阪府の様々な先生方からよく教えていただいております、引き続き、その重要な役割を果たしていただけたらと考えております。

2020 年からのコロナ禍をはじめとして、医療をめぐる様々な困難がございましたが、それぞれの団体の会員の皆様方がお力を発揮され、乗り越えることができたことに改めての御礼を申し上げます。

我々医療界では、コロナ禍をなんとか乗り越えましたが、すぐに 50 年前と同じように、近年まれに見る物価上昇や人件費上昇の荒波に揉まれております。日本医師会は、病院団体のみなさまとともに、医療界として一致団結して、この荒波を乗り切るための取り組みを着実に進めてまいります。皆様におかれましては、引き続き深いご理解と格段のご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びとしまして、大阪府病院協会並びに大阪府私立病院協会の今後ますますのご発展と、本日ご参会の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、挨拶の言葉とさせていただきます。



大阪府医師会 会長
高井 康之 先生

みなさん、こんにちは。大阪府医師会会長の高井でございます。

本日、ここに大阪府病院協会創立 70 周年／大阪府私立病院協会創立 50 周年記念式典が開催されましたこと、心よりお慶びを申し上げます。開催にあたり、大阪府医師会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに本日は大変おめでたい席ではございますが、今年は新年早々、能登半島において大地震が発生いたしました。我々大阪府医師会も日本医師会からの要請により、発災当初から JMAT チームを編成し、先月の 4 月 29 日まで途切れることなく、医療支援を続けてまいりました。特に病院協会の先生方には、我々の会員だけではチームの編成が難しい際には、率先してチームを編成して頂き、現地で積極的に活動を行って頂きました。病院協会の先生方のご協力がなければ、この難局を乗り切ることはできなかったと思っております。また、支援金につきましても、我々の方で取りまとめさせて頂きましたところ、会員や協力団体様からのご協力もあり、約 1,900 万円もの支援金を集めることができました。こちらにつきましては、日本医師会へ早速送金し、現地の復興に活用されることかと祈念いたしております。これまで多大なるご尽力を頂きましたこと、この場をお借りいたしまして、改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

ご承知のとおり、大阪では病院協会と医師会との懇談会を毎年 1 回開催させて頂いております。その時々課題をテーマにし、様々な意見を交わし、互いに情報共有を図りながら、これまで連携を常に強化してまいりました。新型コロナウイルス感染症の蔓延時も、その関係性が甲斐あって、その連携機能を十二分に発揮することができたのは皆様もご承知の通りであり、今後もこの関係性は途切れることなく継続してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、ご承知のとおり、診療報酬改定につきましては、本体の改定率がプラス 0.88% となりました。今回のプラス改定は、日本医師会や病院団体の協力のもと、多くの国会議員の先生方と一致団結した結果であると強く受け止めており、改めて感謝申し上げます。働いているスタッフの賃金や、入院時の食費の見直しといったプラスの面もございますが、その反面として、「地域包括医療病棟入院料」の新設といった課題もございます。10 対 1 の新病棟を創設し、増加する高齢者救急のニーズに対して、適切に対応できる体制を整備し、急性期一般病棟の要件を厳格化、地域医療構想に基づく病床再編を促すのが狙いとされておりますが、実際にはその施設基準は厳しく、算定が非常に困難となっております。この施設基準を満たすためには、一定程度の外科系の入院を受け入れないと難しく、特に内科系の救急を受け入れている病院は今後、経営も大きく左右されるのではないかと大変危惧されるところで、引き続き手厚い診療報酬上の手当てが必要となってまいります。

また、紹介受診重点医療機関の創設により、外来機能の分化と連携が更に進展することが期待されておりますが、従来の医療機関のフリーアクセスを基本として成り立っていた外来診療を根本的に変えるには、

国民への丁寧な説明と理解が必要となっておりまゐります。そのためにも、かかりつけ医による協力は必要不可欠であり、24 時間 365 日の在宅療養の体制構築も求められるなか、我々大阪府医師会といたしましても引き続き、かかりつけ医の機能強化に努めてまいります。

また、先日開催されました、財政制度等審議会・財政制度分科会では、医療費が経済状況にかかわらず安定的に増加する傾向があるとの理由から、医療介護の保険料率の上昇傾向に歯止めをかけるため、雇用者報酬の伸びと同水準にすべきとの主張や、医薬品については、医療機関や患者もコストに対する意識が低いため、保険外併用療養費制度を活用し、費用対効果が明らかでないものは民間保険に委ねるといったことも検討しております。更には、医師の偏在対策では、勤務医から開業医へのシフトを促さないよう診療報酬体系の適正化や、医師過剰地域での新規開業規制、更には地域別診療報酬の導入までも検討してきており、財務省による経済的な観点のみからの医療費抑制策は、今後ますます厳しい状況となっております。そのためにも、決して気を緩めることなく、政府に強く働きかけるため、これまで以上に病院協会の先生方との連携を密にする必要がございます。どうか引き続き、ご理解とご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会の今日の礎を築かれた歴代役職員各位ならびにこれを継承・発展されてこられました木野会長、生野会長をはじめとした役職員の皆様方に改めて敬意を表しますとともに、大阪府病院協会創立 70 周年、大阪私立病院協会創立 50 周年を機に両会がより一層発展されますよう心より祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

大阪府知事から表彰状が大阪府私立病院協会と
両協会役員の中から下記9名に贈られました。

【団体の部】

一般社団法人大阪府私立病院協会

【個人の部】

大阪府私立病院協会 常任理事
社会医療法人寿楽会 大野記念病院 理事長

大野 良興 先生

大阪府私立病院協会 常任理事
公益財団法人浅香山病院 理事長

高橋 明 先生

大阪府私立病院協会 常任理事
特定医療法人新仁会 新仁会病院 理事長

鹿島 洋一 先生

大阪府私立病院協会 常任理事
社会医療法人 ONE FLAG おおさかグローバル整形外科病院 理事長

牧 恭彦 先生

大阪府病院協会 名誉会長
八尾市立病院 特命総長

佐々木 洋 先生

大阪府病院協会 副会長
社会医療法人山紀会 山本第三病院 理事長

山本 時彦 先生

大阪府病院協会 理事
社会医療法人美杉会 佐藤病院 院長

河合 泰博 先生

大阪府病院協会 理事
医療法人りんどう会 向山病院 理事長

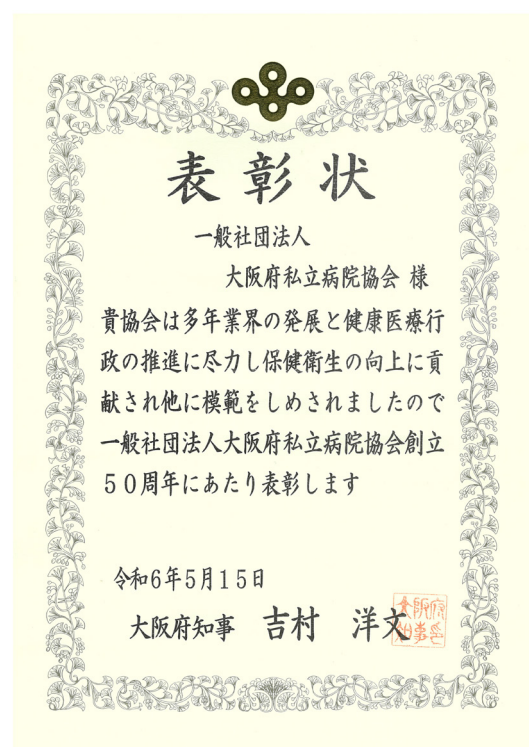
多田 正知 先生

大阪府病院協会理事
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 理事長

亀山 雅男 先生



団体の部 大阪府私立病院協会



第2部 記念講演会

テーマ

「古代エジプトの不病、不老、ピラミッド」

講師：名古屋大学国際高等研究機構 高等研究院 准教授 ^{カワエ}河江 ^{ユキノリ}肖剰 先生

座長：創立記念事業実行委員長 大道 道大 先生



講師 河江 肖剰 先生

講師の河江先生は、3D計測技術とドローンを用いて、これまで謎であったエジプトのギザの大ピラミッドの建造方法の調査に取り組み、4,500年前に起きた出来事を解明しようとされており、多くのテレビ番組に出演するなど、エジプト文明についての知見を広めている。講演では、古代エジプトにも医者（歯医者）の存在が確認されており、どのような病気があったのか、病気になったときにどのように治していたのか、しかも不老、長生きすることが求められ、永遠の生命のために古代エジプトの象徴としてのピラミッドが建造されたとして、ミステリアスな興味深い解説が展開された。



第3部 記念祝賀会

開会挨拶

創立記念事業実行委員長 大道 道大 先生

お祝いスピーチ

衆議院議員 伊佐 進一 先生

参議院議員 松川 るい 先生（メッセージ代読）

参議院議員 梅村 聡 先生

日本病院会会長 相澤 孝夫 先生



実行委員長 大道道大先生

日本病院会の相澤会長は、長く日本病院会の会長を務めているが、大阪府の先生には驚かされることばかりであるとし、そのエピソードを紹介された。

診療報酬改定の際、病院が対応を変えなければならない場合、大阪府の病院は行動が最も早いことに対し、東日本の病院は対応が遅く、石橋を叩いても渡らないことが多く、大阪府に追随するというケースである。その素早い行動にはいつも驚かされ、日本病院会でも、大阪府の先生方に相談すれば道が開けると考えている。

また、医療と介護の総合展（メディカルジャパン）は、東京と大阪で開催されているが、大阪の第1回開会式に出席したところ、大阪府知事、大阪市長をはじめ関西経済界の代表も出席されていたことにはたいへん驚かされた。大阪府のように皆と仲良くすれば日本の医療も良くなる、切磋琢磨しながら皆で進んでいくことが重要であると考えます。

そして最後に、大阪府の病院協会が、70年、50年と続けてきた秘訣は上記によるものであり、今後も日本病院会と仲良く切磋琢磨しながら、日本の病院を良い方向に導いていくための協力と、両協会の今後のますますの発展および会員病院がそれぞれ発展するよう願われた。



衆議院議員 伊佐進一先生



参議院議員 梅村 聡先生



日本病院会会長 相澤孝夫先生

乾 杯

日本医療法人協会会長 加納 繁照 先生

大阪府病院協会創立 70 周年、大阪府私立病院協会創立 50 周年、誠におめでとうございます。

大阪の病院団体は公私に関係なくまとまり、大阪府医師会とも仲良くさせていただいています。このようになったのは先達の先生方のご努力のおかげであり、深く感謝申し上げる次第でございます。昭和 37 年には、現在の四病協の一つである全日本病院協会が大阪で生まれ、平成 17 年には社会医療法人協議会が発足しています。その意味で大阪府は病院団体のメッカ、聖地とも言えるところです。今後ともエネルギッシュな大阪において、相澤会長のご挨拶にもあったように、素早い行動を取る大阪の病院団体が一つになって、オール大阪で活躍し、ひいては日本のあるべき医療を牽引していきたいと考えています。皆様方のご協力とご支援をお願いします。



大阪府病院協会と大阪府私立病院協会のますますの発展を祈念して高らかに杯を上げました。

アトラクション

OSK日本歌劇団のスペシャルショー

華やかでエネルギッシュな、名物のラインダンスをはじめ、朝ドラ「ブギウギ」に因んだ楽曲と踊りが約 20 分間にわたり行われました。



中締め挨拶

大阪府病院協会副会長 宮本 裕治 先生

多くの皆様に式典・祝賀会にご参加いただいたことにお礼の挨拶を述べると共に、今後の更なる発展を祈念して一本絞めを行い、閉会となりました。



記念式典



記念式典



記念講演



祝賀会



祝賀会



祝賀会



OSKスペシャルショー





数字で振り返る
大阪府私立病院協会

歴代会長・副会長

昭和 49 年 8 月 7 日 大阪府私立病院協会 設立
 昭和 53 年 4 月 7 日 社団法人大阪府私立病院協会 認可
 平成 24 年 4 月 1 日 一般社団法人大阪府私立病院協会 改組

昭和 49 年 8 月 17 日～昭和 51 年 3 月 31 日

会 長	内藤 景岳	総合病院南大阪病院 院長
副会長	有澤 源蔵	有澤病院 院長
	河崎 茂	水間病院 院長
	田中 治	東大阪病院 院長

平成元年 4 月 1 日～平成 4 年 3 月 31 日

会 長	中野 博光	中野こども病院 院長
副会長	大道 學	大道病院 理事長
	中後 勝	理学診療科病院 理事長
	牧 安孝	牧病院 院長

昭和 51 年 4 月 1 日～昭和 53 年 3 月 31 日

会 長	河崎 茂	水間病院 院長
副会長	加納 繁美	加納病院 院長
	澤 潤一	さわ神経科病院 院長
	田中 治	東大阪病院 院長

平成 4 年 4 月 1 日～平成 4 年 10 月 27 日

会 長	牧 安孝	牧病院 院長
副会長	大道 學	大道病院 理事長
	佐藤 眞杉	佐藤病院 院長
	中後 勝	理学診療科病院 理事長

昭和 53 年 4 月 1 日～昭和 55 年 3 月 31 日

会 長	河崎 茂	水間病院 院長
副会長	加納 繁美	総合加納病院 院長
	澤 潤一	さわ神経科病院 院長
	田中 治	東大阪病院 院長

平成 4 年 10 月 28 日～平成 5 年 1 月 26 日

会 長	牧 安孝	牧病院 院長
副会長	大道 學	大道病院 理事長
	佐藤 眞杉	佐藤病院 院長
	中後 勝	理学診療科病院 理事長

※牧会長 平成 4 年 12 月 14 日逝去

昭和 55 年 4 月 1 日～昭和 61 年 3 月 31 日

会 長	有澤 源蔵	有澤総合病院 院長
副会長	加納 繁美	総合加納病院 院長
	澤 潤一	さわ神経科病院 院長
	田中 治	東大阪病院 院長

平成 5 年 1 月 27 日～平成 5 年 12 月 7 日

会 長	大道 學	大道病院 理事長
副会長	佐藤 眞杉	佐藤病院 院長
	中後 勝	理学診療科病院 理事長
	山川 眞	白鷺病院 院長

※山川副会長 平成 5 年 12 月 5 日逝去

昭和 61 年 4 月 1 日～平成元年 3 月 31 日

会 長	田中 治	東大阪病院 院長
副会長	大道 學	大道病院 院長
	中後 勝	理学診療科病院 理事長
	中野 博光	中野こども病院 院長

平成 5 年 12 月 8 日～平成 8 年 3 月 31 日

会 長	大道 學	大道病院 理事長
副会長	佐藤 眞杉	佐藤病院 院長
	辻 尚司	辻外科病院 院長
	中後 勝	理学診療科病院 理事長

歴代会長・副会長

平成8年4月1日～平成12年3月31日

会 長	中後 勝	愛仁会リハビリテーション病院 理事長
副会長	川合 弘毅	若草第一病院 理事長
	佐藤 眞杉	佐藤病院 院長
	辻 尚司	辻外科病院 院長

平成12年4月1日～平成18年3月31日

会 長	佐藤 眞杉	佐藤病院 理事長
副会長	生野 弘道	守口生野病院 理事長
	川合 弘毅	若草第一病院 理事長
	河崎 晃	河崎病院 理事長

平成18年4月1日～平成20年3月31日

会 長	生野 弘道	守口生野記念病院 理事長
副会長	大道 道大	森之宮病院 院長
	川合 弘毅	若草第一病院 理事長
	河崎 晃	河崎病院 理事長

平成20年4月1日～平成24年3月31日

会 長	生野 弘道	守口生野記念病院 理事長
副会長	大道 道大	森之宮病院 理事長
	川合 弘毅	若草第一病院 理事長
	木野 昌也	北摂総合病院 院長

平成24年4月1日～平成26年5月28日

会 長	生野 弘道	守口生野記念病院 理事長
副会長	大道 道大	森之宮病院 理事長
	加納 繁照	加納総合病院 理事長
	木野 昌也	北摂総合病院 理事長

平成26年5月28日～令和6年5月29日

会 長	生野 弘道	守口生野記念病院 理事長
副会長	大道 道大	森之宮病院 理事長
	加納 繁照	加納総合病院 理事長
	木野 昌也	北摂総合病院 理事長
	馬場 武彦	馬場記念病院 理事長

令和6年5月29日～令和8年定時総会終結時

会 長	加納 繁照	加納総合病院 理事長
副会長	大道 道大	森之宮病院 理事長
	馬場 武彦	馬場記念病院 理事長
	多根 一之	多根総合病院 理事長
	牧 恭彦	おおさかグローバル整形外科病院 理事長

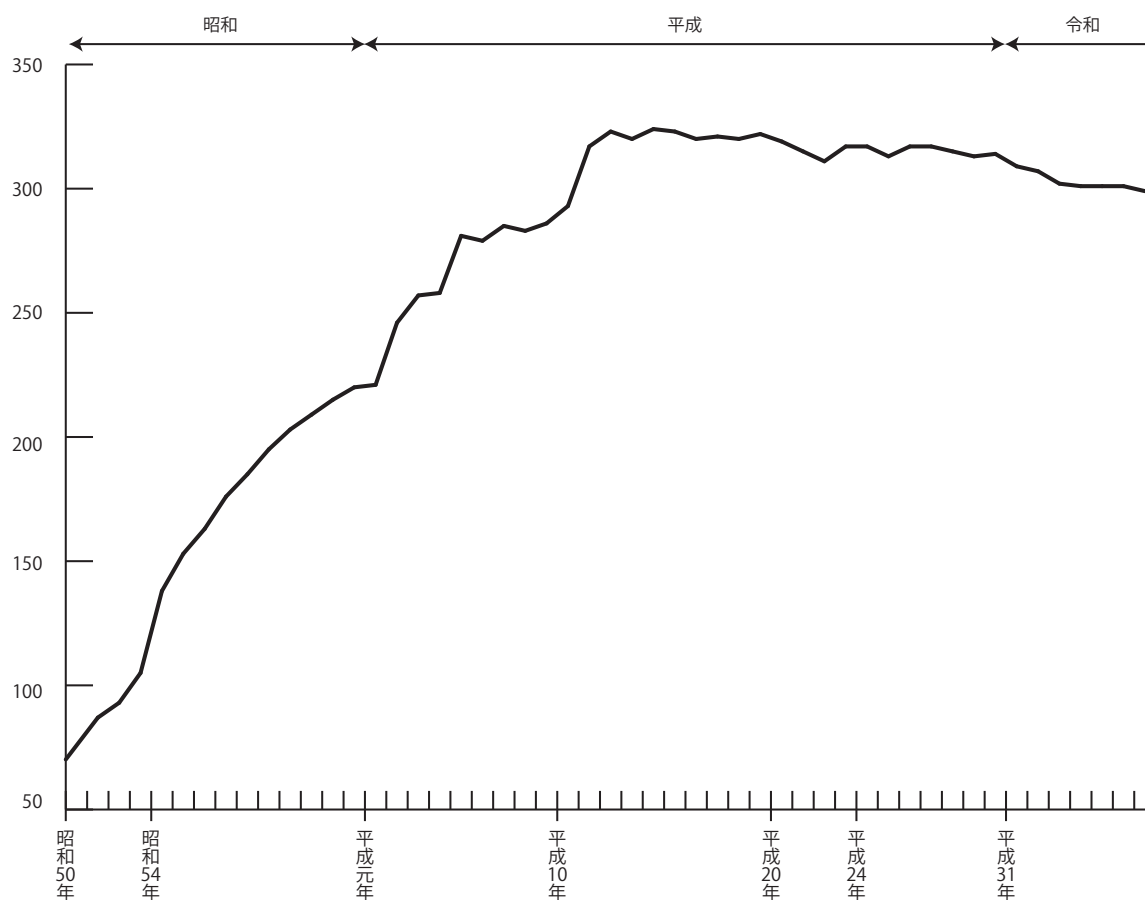
役員名簿

令和6年5月29日～令和8年定時総会終結時

役職名	氏 名	病院名・役職名
会 長	加 納 繁 照	加納総合病院 理事長
副 会 長	大 道 道 大	森之宮病院 理事長
副 会 長	馬 場 武 彦	馬場記念病院 理事長
副 会 長	多 根 一 之	多根総合病院 理事長
副 会 長	牧 恭 彦	おおさかグローバル整形外科病院 理事長
常任理事	大 野 良 興	大野記念病院 会長
常任理事	鹿 島 洋 一	新仁会病院 理事長
常任理事	河 崎 敦	河崎病院 院長
常任理事	木 野 昌 也	北摂総合病院 理事長
常任理事	島 田 永 和	八尾はあとふる病院 理事長
常任理事	高 橋 明	浅香山病院 理事長
常任理事	辻 卓 司	辻外科リハビリテーション病院 理事長
常任理事	寺 元 隆	寺元記念病院 理事長
常任理事	森 本 義 彦	東住吉森本病院 理事長
常任理事	山 川 智 之	白鷺病院 理事長
常任理事	山 本 時 彦	山本第三病院 理事長
常任理事	行 岡 正 雄	行岡病院 理事長
常任理事	渡 邊 太 郎	関西メディカル病院 理事長

役職名	氏 名	病院名・役職名
理 事	荒 木 敦	大阪旭こども病院 院長
理 事	柿 本 祥太郎	南大阪病院 理事長
理 事	亀 山 雅 男	府中病院 理事長
理 事	阪 本 栄	大阪さやま病院 理事長
理 事	高 岡 秀 幸	高槻病院 理事長
理 事	野 上 浩 實	野上病院 理事長
理 事	長 谷 川 格	なにわ生野病院 院長
理 事	三 上 聡 司	東香里病院 院長
理 事	山 住 俊 晃	育和会記念病院 理事長
理 事	山 中 英 治	若草第一病院 院長
監 事	草 野 孝 文	アエバ外科病院 院長
監 事	瀬 瀬 和 雅	公認会計士
名誉会長	大 道 學	ボバース記念病院 会長
名誉会長	佐 藤 眞 杉	佐藤病院 理事長
名誉会長	生 野 弘 道	守口生野記念病院 理事長
裁定委員	辻 本 吉 広	井上病院 院長
裁定委員	錦 見 俊 雄	わかくさ竜間リハビリテーション病院 院長
裁定委員	藤 井 良 幸	高石藤井病院 理事長
裁定委員	藤 尾 陽 一	北大阪病院 院長

会員数推移



昭和50年3月31日現在	75 病院	平成13年3月31日現在	320 病院
昭和51年3月31日現在	87 病院	平成14年3月31日現在	324 病院
昭和52年3月31日現在	93 病院	平成15年3月31日現在	323 病院
昭和53年3月31日現在	105 病院	平成16年3月31日現在	320 病院
昭和54年3月31日現在	138 病院	平成17年3月31日現在	321 病院
昭和55年3月31日現在	153 病院	平成18年3月31日現在	320 病院
昭和56年3月31日現在	163 病院	平成19年3月31日現在	322 病院
昭和57年3月31日現在	176 病院	平成20年3月31日現在	319 病院
昭和58年3月31日現在	185 病院	平成21年3月31日現在	315 病院
昭和59年3月31日現在	195 病院	平成22年3月31日現在	311 病院
昭和60年3月31日現在	203 病院	平成23年3月31日現在	317 病院
昭和61年3月31日現在	209 病院	平成24年3月31日現在	317 病院
昭和62年3月31日現在	215 病院	平成25年3月31日現在	313 病院
昭和63年3月31日現在	220 病院	平成26年3月31日現在	317 病院
平成 元年3月31日現在	221 病院	平成27年3月31日現在	317 病院
平成 2年3月31日現在	246 病院	平成28年3月31日現在	315 病院
平成 3年3月31日現在	257 病院	平成29年3月31日現在	313 病院
平成 4年3月31日現在	258 病院	平成30年3月31日現在	314 病院
平成 5年3月31日現在	281 病院	平成31年3月31日現在	309 病院
平成 6年3月31日現在	279 病院	令和 2年3月31日現在	307 病院
平成 7年3月31日現在	285 病院	令和 3年3月31日現在	302 病院
平成 8年3月31日現在	283 病院	令和 4年3月31日現在	301 病院
平成 9年3月31日現在	286 病院	令和 5年3月31日現在	301 病院
平成10年3月31日現在	293 病院	令和 6年3月31日現在	301 病院
平成11年3月31日現在	317 病院	令和 7年3月31日現在	299 病院
平成12年3月31日現在	323 病院		

会員病院一覧

(令和7年3月31日現在)

地区	会員病院名	地区	会員病院名
豊中市	小西病院	茨木市	東和会いばらき病院
	千里山病院		田中病院
	豊中敬仁会病院		サンタマリア病院
	上田病院		茨木みどりヶ丘病院
	豊中平成病院		彩都友紘会病院
	大阪脳神経外科病院		ほうせんか病院
	関西メディカル病院		友紘会総合病院
	坂本病院		済生会茨木病院
	さわ病院		茨木病院
池田市	巽病院	摂津市	藍野病院
	池田回生病院		摂津ひかり病院
箕面市	相原病院		千里丘中央病院
	箕面中央病院	島本町	昭和病院
	巽今宮病院		水無瀬病院
	千里リハビリテーション病院	守口市	もりぐち清水会病院
	ためなが温泉病院		守口敬仁会病院
吹田市	甲聖会記念病院		守口生野記念病院
	井上病院		松下記念病院
	皐月病院		関西医科大学総合医療センター
高槻市	三康病院	寝屋川市	寝屋川南病院
	藤田胃腸科病院		道仁病院
	富田町病院		松島病院
	第二東和会病院		青樹会病院
	うえだ下田部病院		寝屋川ひかり病院
	緑水会病院		寝屋川生野病院
	北摂総合病院		藤本病院
	光愛病院		河北病院
	愛仁会リハビリテーション病院		上山病院
	第一東和会病院		小松病院
	新阿武山病院		ねや川サナトリウム
	みどりヶ丘病院	門真市	牧リハビリテーション病院
	高槻病院		萱島生野病院

会員病院一覧

(令和7年3月31日現在)

地区	会員病院名	地区	会員病院名
枚方市	松谷病院	東大阪市	枚岡病院
	坂野病院		若草第一病院
	津田病院		石切生喜病院
	吉田病院	八尾市	東朋八尾病院
	枚方東整形外科病院		八尾はあとふる病院
	東香里第二病院		貴島中央病院
	向山病院		貴島病院本院
	関西医科大学くずは病院		医真会八尾総合病院
	新世病院		八尾徳洲会総合病院
	天の川病院	富田林市	金剛病院
	香里ヶ丘有恵会病院		PL病院
	福田総合病院	河内長野市	青山第二病院
	佐藤病院		澤田病院
	東香里病院		滝谷病院
	中村病院		南河内おか病院
	大寿会病院		てらもと医療リハビリ病院
大東市	大東中央病院		寺元記念病院
	仁泉会病院		老寿やすらぎ病院
	阪奈病院	松原市	松原徳洲会病院
	野崎徳洲会病院		明治橋病院
	わかくさ竜間リハビリテーション病院		吉村病院
交野市	星田南病院	羽曳野市	運動器ケアしまだ病院
	交野病院		天仁病院
四條畷市	北河内藤井病院		高村病院
	阪奈サナトリウム		しらとり病院
	暇生会脳神経外科病院		城山病院
東大阪市	小阪産病院	藤井寺市	青山病院
	渡辺病院	大阪狭山市	兵田病院
	八戸の里病院		辻本病院
	藤井会リハビリテーション病院		さくら会病院
	喜馬病院		樫本病院
	牧野病院		大阪さやま病院
	恵生会病院		青葉丘病院

会員病院一覧

(令和7年3月31日現在)

地区	会員病院名	地区	会員病院名
大阪狭山市	近畿大学病院	高石市	高石加茂病院
	大仙病院		高石藤井病院
堺市	鳳胃腸病院	泉大津市	かわい病院
	堺近森病院		原病院
	泉北藤井病院	岸和田市	和田病院
	堺山口病院		久米田外科整形外科病院
	吉川病院		藤井病院
	朝日会病院		岸和田リハビリテーション病院
	田仲北野田病院		葛城病院
	(田中会) 田中病院		寺田萬寿病院
	植木病院		久米田病院
	阪堺病院	貝塚市	貝塚記念病院
	ペガサスリハビリテーション病院		河崎病院
	南堺病院		木島病院
	(暁美会) 田中病院		水間病院
	堺若葉会病院	泉佐野市	羽原病院
	ベルピアノ病院		東佐野病院
	日野病院		佐野記念病院
	泉北陣内病院	泉南市	大阪晴愛病院
	堺平成病院		泉南大阪晴愛病院
	馬場記念病院		野上病院
	清恵会病院		白井病院
	耳原総合病院	阪南市	玉井病院
	ベルランド総合病院		大阪リハビリテーション病院
	阪和第二泉北病院		阪南市民病院
	浅香山病院	泉南郡	永山病院
和泉市	奥村病院		与田病院
	河和会病院		七山病院
	府中病院	北区	桜橋渡辺未来医療病院
	咲花病院		加納総合病院
	光生病院		行岡病院
	新仁会病院	都島区	明生記念病院
	阪和いずみ病院		神原病院

会員病院一覧

(令和7年3月31日現在)

地区	会員病院名	地区	会員病院名
都島区	ツチ病院	西淀川区	苗加病院
	分野病院		名取病院
	東朋 病院		千船病院
	聖和病院	中央区	日本橋病院
	明生病院	天王寺区	湯川胃腸病院
淀川区	革島病院		辻外科リハビリテーション病院
	北大阪病院		早石病院
	東淀川病院		四天王寺病院
	貴生病院		大阪警察病院
東淀川区	成仁会病院	浪速区	なにわ病院
	淀川若葉会病院		なにわ生野病院
	淀川キリスト教病院		富永病院
旭区	城北みどりヶ丘病院	東成区	外科野崎病院
	明德病院		東成病院
	牧病院		矢木脳神経外科病院
	大阪旭こども病院		明生第二病院
	藤立病院		公道会病院
	福島病院		朋愛病院
福島区	フジタ病院	生野区	アエバ外科病院
	首藤病院		村田病院
	大阪整形外科病院		生野愛和病院
	えびえ記念病院		松崎病院
	関西電力病院		生野中央病院
此花区	大阪暁明館病院		共和病院
			育和会記念病院
西区	多根記念眼科病院	城東区	関目病院
	日新会病院		おおさかグローバル整形外科病院
	吉川病院		ボバース記念病院
	内藤病院		東大阪病院
	大野記念病院		森之宮病院
	多根総合病院	鶴見区	城東病院
大正区	大正病院		三和病院
港区	多根脳神経リハビリテーション病院		和田病院
	多根第二病院		

会員病院一覧

(令和7年3月31日現在)

地区	会員病院名	地区	会員病院名
鶴見区	藍の都脳神経外科病院	西成区	杏林記念病院
	本田病院		山本第一病院
	新協和病院		思温病院
阿倍野区	帝塚山病院		山本第三病院
	相原第二病院		
	大阪鉄道病院		
住吉区	越宗整形外科病院		
	オリオノ病院		
	阪和記念病院		
	あびこ病院		
	阪和病院		
東住吉区	東住吉森本リハビリテーション病院		
	西中病院		
	白鷺病院		
	淀井病院		
	南大阪小児リハビリテーション病院		
	東和病院		
	東住吉森本病院		
住之江区	南港病院		
	咲洲病院		
	南大阪病院		
平野区	高遼会病院		
	平野東図書館前病院		
	浜田病院		
	三好病院		
	松井記念病院		
	緑風会病院		
	正和病院		
	平野若葉会病院		
	共立病院		
	長吉総合病院		
西成区	浦上病院		
	まちだ胃腸病院		

合同創立記念事業 実行委員会

委員長：大道 道大（大阪府私立病院協会副会長・森之宮病院理事長）

< 大阪府病院協会 >

木野 昌也（会長・北摂総合病院理事長）
山本 時彦（副会長・山本第三病院理事長）
宮本 裕治（副会長・大手前病院院長）
矢野 雅彦（副会長・市立吹田市民病院理事長）
古川 福実（理事・高槻赤十字病院名誉院長）
西口 幸雄（理事・大阪市立総合医療センター
理事長・病院長）
田村 茂行（理事・八尾市立病院総長）

< 大阪府私立病院協会 >

加納 繁照（副会長・加納総合病院理事長）
馬場 武彦（副会長・馬場記念病院理事長）
多根 一之（常任理事・多根総合病院理事長）
牧 恭彦（常任理事・おおさかグローバル整形
外科病院理事長）
河崎 敦（理事・河崎病院院長）
森本 義彦（理事・東住吉森本病院理事長）

< 令和6年5月15日現在 >

創立 50 周年記念誌編集委員会

委員長：大道 道大（副会長・森之宮病院 理事長）
委員：馬場 武彦（副会長・馬場記念病院 理事長）
委員：多根 一之（副会長・多根総合病院 理事長）
委員：牧 恭彦（副会長・おおさかグローバル整形外科病院 理事長）
委員：河崎 敦（常任理事・河崎病院 院長）
委員：森本 義彦（常任理事・東住吉森本病院 理事長）

< 令和7年6月現在 >

編集後記

令和6年5月15日、大阪府私立病院協会の創立 50 周年を祝し、創立 70 周年を迎える大阪府病院協会との合同記念式典が盛大に執り行われました。記念講演では、名古屋大学の河江肖剰教授をお迎えし、古代エジプトの歴史や謎、最新の研究成果を交えたお話を聞かせていただきました。医療とは異なる分野のテーマでありながらも、歴史に刻まれた人類の知恵と進歩に思いを馳せる大変興味深いご講演でした。記念祝賀会では、OSK日本歌劇団による華やかなショーが披露されました。優雅で迫力あるステージに会場も活気が溢れ、記念すべき祝賀会は一層盛り上がりました。

この節目となる式典には、多くの関係者の皆様にご臨席いただき、大阪府私立病院協会の今後のさらなる発展への思いを新たに作る貴重な機会となりました。

このたび発刊した本記念誌では、大阪府私立病院協会の 50 年にわたる歩みを振り返り、歴史の節目としてその記録をまとめました。これまでご指導ご支援いただきました多くの方々へ心より感謝申し上げます。

令和7年6月吉日
一般社団法人 大阪府私立病院協会
副会長 大道道大

大阪府私立病院協会 創立 50周年 記念誌

令和7年8月発行

発行 一般社団法人 大阪府私立病院協会
〒543-0074 大阪市天王寺区六万休町 4-11
TEL：06-6776-1616（代）

制作 株式会社阪南ビジネスマシン
